

2018年8月/9月 夏休み いすみ グローカルスタディプログラム詳細

【開催日時】2018年9月の火曜・木曜・土曜（お盆期間除く）

10時～17時 （プログラムによって変更あり）

【対象】 地域活性化に興味がある学生。（第一次産業および空き家問題、交通問題、福祉等）

将来地域で働きたい・生活したいと考えている学生。

自分のスキルや強みをこの機会に掘り下げたい方。

起業にチャレンジしてみたい方。独自のプロジェクトを運営してみたい方。

【参加条件】千葉大学在籍の学生。学部3～4年、修士・博士。

プログラムに1ヶ月で最低3日は参加できる方。（8，9月合わせて最低6日間）

10月以降もいすみ市に継続的に関わっていける方。（月最低4日。2019年3月まで）

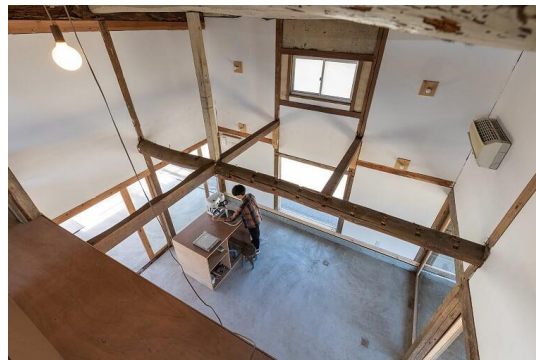
条件等がある場合にはご相談ください。また学年はこれまでの実情を鑑み、ある程度のマナーと知識がある人を求めるため学部3年以上としています。

1、2年生で参加希望の方はお問い合わせください。

【開催場所】いすみ市 大原千葉大拠点（住所：いすみ市大原 7777-3 JR 外房線大原駅徒歩5分）

※千葉大生が空き建築物をリノベーションした建物です

その他、いすみ市各所（プログラムによって異なります）



【補助】 交通費（特急料金除く）は大学から補助します。（月末締め翌月払い）

※こちらのプログラムはいすみ市大学等連携地域活性化事業補助金で運営しています。

参加姿勢が著しく悪い場合には対象外とする場合もありますのでご注意ください。

■申し込みフォーム

<https://goo.gl/forms/Fw8LCtzWSaPtKIAE3>

■運営担当・問い合わせ先

分からないことや、参加にあたって条件などがある場合にはお知らせください。

千葉大学コミュニティイノベーションオフィス 担当：加藤

E-mail : yoshie-kato@chiba-u.jp

TEL : 043-290-2926 (平日 10 時～17 時)

担当教員：千葉大学 いすみ市地域コーディネーター 加藤美栄



津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業後、(一財)運輸調査局に研究員として勤務。観光、IT、危険物輸送、二次交通整備等幅広い分野においてマーケティングリサーチを行うほか、アメリカを始めとする海外交通事情のリサーチと発信を担当。日本経済新聞をはじめ、新聞や雑誌、辞書への執筆を行う。2008 年 JR 東日本経営企画部への出向時に、地方の赤字路線の現状を目の当たりにし、その後東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻に進学。卒業後は金融業界や、(株)umari での勤務を経て 2015 年 (株)マイファームに転職。2016 年千葉大へ出向。以降 COC+ の地域コーディネーターとして勤務。2018 年マイファームに復職。いすみ市に移住後、現在一宮町在住。

今回のプログラムは、地域資源だけでなく、実際に地域で働く上でのノウハウも一緒に学ぶことのできるプログラムを作っております。

- 8 月 30 日 農業②ICT による農業と、直売所運営について
- 9 月 1 日 農業③自然栽培つるかめ農園 稲刈り実践
- 9 月 4 日 地域における Airbnb 運営について (Airbnb 運営リターン合同会社)
- 9 月 6 日 持続可能な循環型酪農経営について (高秀牧場)
- 9 月 8 日 地域で若手雇用を生み出す 松本家具 スツールワークショップ
- 9 月 11 日 営農型ソーラーシェアリングによるエネルギー生産と果実栽培
(いすみ自然エネルギー株式会社)
- 9 月 13 日 文化②上総十二社祭り視察
- 9 月 15 日 調整中
- 9 月 18 日 農業④いすみでのサトウキビ栽培について
- 9 月 20 日 調整中

8 月は、いすみの海資源についてや、空き家の問題、活用事例等についてのレクチャを実施しました。

■いすみプログラム 各日程概要■

- 8 月 30 日 (木) 13 時～15 時 (予定) ★いすみの農業を学ぶ (次世代若手農家の挑戦)
Farm Yard 石野 フィールド視察&レクチャ
飲食店から新規就農した石野さん。都内をはじめとする数多くのレストラン

から引く手あまたの美味しいトマトを栽培しています。その販売戦略や、ICTを活用した栽培方法、またいすみで人気の直売所「ごじゃぼこ」の理事長でもいらっしゃいます。農業を軸とした経営についてお話いただきます。

9月1日(土)

10時～17時(予定) ★いすみの農業を学ぶ★新規お米農家の挑戦

いすみ市で、農薬も肥料も使わない自然栽培で、お米を育てている、つるかめ農園。この稲刈りを体験して頂くとともに、つるかめ農園さんの想い、大変さをリアルに学んで頂きます。

9月4日(火)

13時～15時(予定) ★地域の新たなビジネス Airbnb★

昨今、新たな宿泊として確立しつつある Airbnb。特に地域では自分の家を活用して新たな収益源としても注目されています。いすみ市で2軒の Airbnb を運営し、自らも移住者で DIY を手がけた、石井栄子・パヴェル（チェコからの移住）夫妻にお話を伺います。

9月6日(木)

10時～15時 ★いすみの酪農を学ぶ★ 高秀牧場

酪農の牛が食べている飼料、日本のほとんどが輸入ということを知っていますか？いすみ市の高秀牧場では飼料を外国に頼らず、また地元の雇用や耕作放棄地を減らすため、地元の方と協力して飼料米を栽培し、地域循環型酪農を実現しています。高秀牧場さんの地域と共生する酪農のスタイルを紹介いただきます。

9月8日(土)

13時～15時 ★いすみの若手雇用ビジネス★松本家具

いすみの松本家具は社員の半数以上が20～30代の若者。家具はすべてオーダーメイドのもので、主に首都圏に販路を持ちます。今年社長がオープンした、コミュニティスペース(キッチンつき)にて開催されるスツールのワークショップに参加します。(人数制限あり)

9月11日(火)

10時～13時 ★地域における自然エネルギー★いすみ自然エネルギー(株)

今注目を浴びている「営農型ソーラーシェアリング」。太陽光パネル下で農業を行う新しいスタイルです。この優良事例として農水省にも認められた取り組みがいすみ自然エネルギー株式会社。新しい農業とエネルギー生産としての太陽光発電のレクチャに加え、取締役の高木さんが展開する、地球に優しいアースバック製法の日本初ゲストハウスを紹介します。

9月13日(木)

13時～17時 ★いすみの文化★上総十二社祭り

いすみ市岬町と、一宮町が行う上総十二社祭りを視察します。

9月18日(火)

13時～15時★いすみの農業★サトウキビ栽培への取り組み(予定)

いすみ市岬町で民宿を営むがじゅまるさんが、サトウキビ栽培を手がけています。日本本州で栽培できるサトウキビ。この付加価値や今後の販売展開を、

栽培現場を視察とともに皆で考える回です。

★調整中の日程と、9月8日以降のスケジュール詳細については確定次第追って共有していきます。